

Point

12

ビューアーで見せる

TREND-POINT では、専用ソフトを所有していない発注者や関係者に配布し、データの閲覧を可能にするビューアーファイルを出力することができます。平面図と写真での打合せより、様々な情報から状況の確認ができるため、災害査定時などでもスムーズな協議が可能になります。

12-1 TREND-POINT ビューアー

『ビューアーファイルを渡すことになったんだけど、閲覧って簡単なの？ファイルと一緒に渡せる簡単な説明書ないかな・・・。』もちろんあります、説明書！受け渡すフォルダー内にある [README.TXT] を開くだけ。閲覧方法が確認できます。

■ ビューアー起動と動作確認

[TREND-POINT] ボタンより、「ビューアー付きファイルとして保存」を選択。出力された「TREND-POINT ビューアー」フォルダーを開き、4つのファイルを確認します。[README.TXT] をダブルクリックし、動作環境や閲覧方法を確認。確認後は、[TREND-POINTOpen.EXE] をダブルクリックし、ビューアーを起動しましょう。

◆ [README.TXT]
動作環境、ファイルの内容、データの確認方法が記載されています。受け渡す際にはこのファイルをはじめに確認いただくようご案内ください。

[TREND-POINTOpen.EXE] をダブルクリックしビューアーを起動。

■ データ閲覧

TREND-POINT 製品版で出力したデータを確認します。点群データの表示だけでなく、距離や体積の計測、断面形状や土量の確認までおこなうことが可能です。

製品版同様、「外周線指定」で面積・体積の算出が可能。

土量の計算結果を確認できます。

高低差の計測が可能です。

領域名	メッシュ領域1	メッシュ領域2
盛土量	30.885 m ³	
切土量	18.825 m ³	12.060 m ³

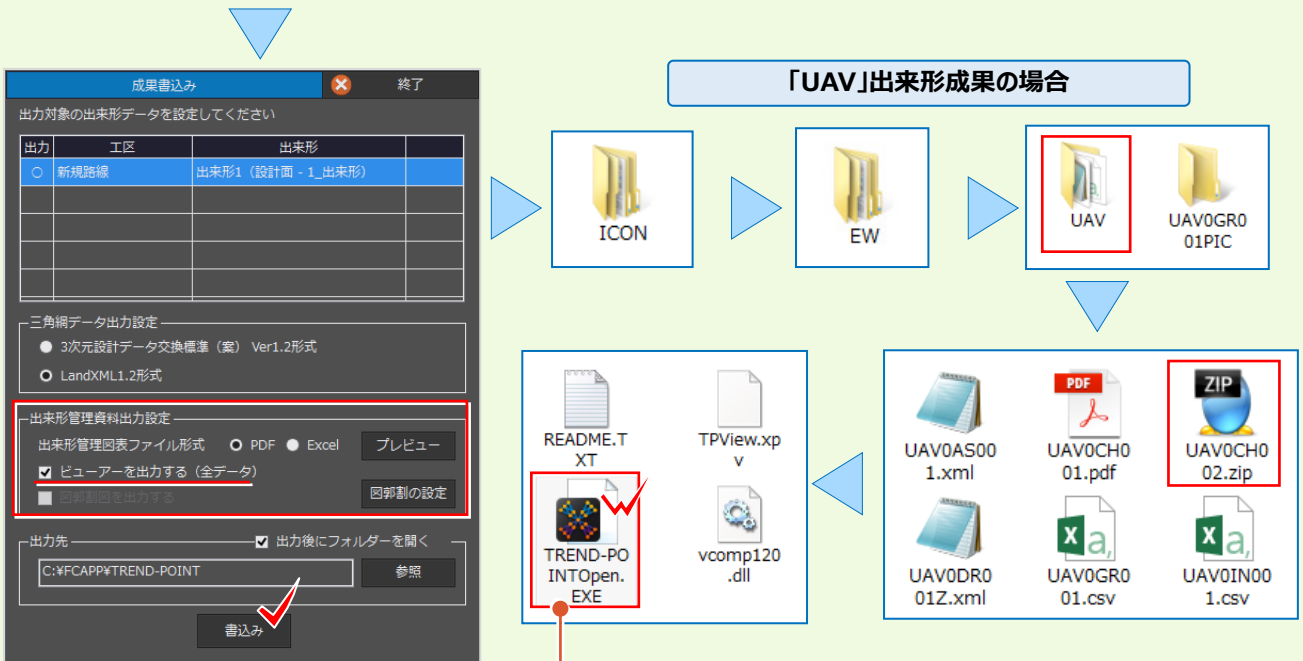
Memo

■ i-Construction における電子納品データのビューアーについて

i-Construction における出来形成果として出力するフォルダーに、「TREND-POINT ビューアー」を格納することができます。ここでは、出力方法と、TREND-POINT ビューアーが格納されるフォルダー構成について確認しましょう。

■ ■ 出力方法と出力データフォルダー ■ ■

i-Construction における出来形成果は、[出来形管理] タブより [成果 - 書き込み] で出力します。



[TREND-POINT Open.EXE] をダブルクリックし、ビューアーを起動します。

■ ■ ビューアーを起動し、データの確認 ■ ■

TREND-POINT で出力したデータが表示され、出来形管理情報ははじめとした様々な情報が確認できます。

